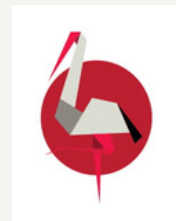


社会福祉法人 福田会 週次報告書

2022年11月22日 / Vol. 028



11月14日(月)～11月20日(日)の支援活動

支援所への支援物資提供

レストランプロジェクト

食材支援



ご支援総額

2022年11月16日までの寄付総額 108,026,983 円

寄付金使用総額 2845225.12 zł (約8252万円)

11/14(月)～11/20(日)の期間中の寄附金使用額

29662.70 zł (約86万円)

レストランプロジェクト参加店で提供されているウクライナ料理。

温かいスープとビーツとキャベツのコールスロー、マッシュポテトと挽肉ステーキ

活動内容



支援所への支援物資提供

カリタス支援所とPeron4支援所へ、週に1度の支援物資の買い出し支援を実施。

カリタス支援所は現在、月・木・金の週3日、12:00 ~ 15:00まで、Peron4支援所は毎日24時間、施設を開放している。



レストランプロジェクト

市内レストラン2店舗と協力し、1週間で約530食を提供。

プロジェクト参加店のBENTOは、新たにウクライナ料理店を開店し、避難民を雇用して新たな憩いの場を提供している。



食材支援（毎週金曜日）

35家族に1週間分の昼食用食材を提供。一人あたり50złの予算を設け、合計で4901.31 zł（約142,000円）分の食材を購入。

食材の購入を行っている大手スーパーチェーン・ビエドロンカでは、現在、対象商品を購入するとシールが貰え、シールを貯めると絵本やぬいぐるみが貰えるキャンペーンをやっており、子どものクリスマスプレゼント用にシールを集める家族の姿が目立った。

写真(左)は対象商品を購入した際に貰えるシール。





現地の動向

クラクフでは11月17日に初雪を観測し、翌18日は積雪となり、本格的な冬が始まった。

週間予報は1週間を通して最低気温が0度を下回っており、人々の装いは一気に真冬の装いとなった。

しかし、石炭不足と電気代高騰が影響し、極力自宅内で暖房を使わないために、カフェやショッピングモールで多くの時間を過ごす人の姿が目立っている。

クラクフ中央駅前広場には、9月末にも一時的に設置されていた、避難民向けの臨時のパスポートセンターが設置された。

クリスマスのために一時的に帰国する予定の避難民も多いためか、氷点下にも関わらず、同センター前は長蛇の列が形成されていた。

